



2020年9月16日

各位

会社名 : 株式会社寺岡製作所
 代表社名 : 代表取締役社長 辻賢一
 (コード: 4987 東証第2部)
 問合せ先 : 取締役管理本部長 石崎修久
 (03-3491-1141)

業績予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四 半期純利益	1株当たり 四半期純利 益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	9,350	△610	△660	△510	△20 13
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	11,299	77	△7	111	4 41

2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当 期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	21,000	30	10	50	1 97
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	22,895	103	47	149	5 90

2. 業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループの業績に与える影響について合理的な算定が困難であったことから未定としておりました。依然として新型コロナウイルスの影響が収束しておらず、今後の見通しが困難な中ではありますが、第1四半期の結果及び現時点における外部環境等を踏まえ、連結業績予想を公表いたします。

第2四半期累計期間につきましては、期初より厳しい外部環境が続いているなか、電機電子用テープを中心に売上は前年同期と比べて大きく減少、固定費の削減を行ったものの利益面でも厳しい結果となる見込みです。

通期につきましては、当社の業績に大きな影響を与える自動車産業、電子部品産業、モバイル機器産業等の需要については第3四半期以降、徐々に回復していくものの、新型コロナウイルス発生前の状態までは戻らないことを前提とし、営業・研究・製造部門が連携を強化し高付加価値な電機電子用テープの拡販を目指すとともに、徹底した生産合理化・コスト削減を実施することにより、上期の損失を下期で挽回し通期黒字を予定いたします。

(注) 上記の予想数値は、本資料発表日時点において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上